

令和3年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【鹿児島県】

学校名【始良市立西始良小学校】

1. 実践テーマ	①・II・III・IV⑤(複数選択可)
2. 実施対象者 (学年・人数)	4年1組 32人
3. 展開の形式	<p>(1) 学校における活動</p> <p>① 教科名(総合的な学習の時間)</p> <p>② 行事名()</p> <p>③ その他()</p> <p>(2) 地域における活動</p> <p>① イベント名()</p> <p>② その他()</p>
4. 目標 (ねらい)	パラリンピック選手との交流を通しパラリンピックスポーツに関する興味・関心を高め、体験活動によりスポーツ志向や夢に向かって粘り強く取り組もうとする気持ちを育てる機会にする。
5. 取組内容	<p>【実践活動】</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・二條実穂氏による、「夢」に関する講話  <ul style="list-style-type: none"> ・競技用車イスの乗車体験 ・車いすテニス体験 <p>【事後活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二條実穂氏に宛てた手紙の作成と送付。 ・総合的な学習の時間で、体験活動の感想をまとめた。

<p>6. 主な成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事業実施前は、パラリンピックを知っている児童は少なかった。しかし今回の実践を通し、パラリンピック競技の種類や内容に興味が高まり、障がい者理解につなげることができた。 ○ パラリンピック選手の苦労や努力・成功体験を直接本人から聞くことで、自分の夢や目標を諦めずに頑張っていきたいという意欲付けにつなげることができた。 ○ 車いすテニスを実際に体験することで、車イスを使ったスポーツの難しさを知るとともに、選手の努力や偉大さを実感することができた。
<p>7. 実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 総合的な学習の時間の一環として、障がい者理解やスポーツ志向を高めるために、実物の競技用車いすやボール・ラケット等を活用し、体験活動を行った。 ○ 新型コロナウイルスの影響で日程や内容を変更したり、手指消毒用アルコールを設置したり、少人数によるグループ活動を取り入れたりしての実施となった。
<p>8. 主な課題等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ コロナ感染症の影響もあるが、今回の活動を他学年にも体験させてやりたかった。そうすると各学年の年間活動計画への位置付けも検討しなければならない。 ○ 低学年にも興味・関心をもってもらえるようなオリパラ教育の在り方について検討する必要がある。
<p>9. 来年度以降の実施予定</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 障がい者スポーツ体験を通し、運動することの楽しさを学ぶ取組も進めていきたい。(他のオリパラ競技についても学びを深めたい。) ○ 児童の興味・関心を更に高めるため、オリパラ競技の種類や内容・選手たちの苦労や努力を教師も学び、児童に周知する機会を設けていきたい。